

# 井の頭恩賜公園花便り



## タケニグサ(竹似草) ケシ科

山野、荒れ地に生える多年草です。高さ1～2mで、6～7月に白い花を多数つけます。茎は中空で、切るとオレンジ色の汁が出ます。汁には殺菌作用があり、皮膚病やたむしに効果がありますが、有毒なため舐めると危険です。名前の由来は茎が竹に似ているから、竹と一緒に煮ると柔らかくなるからなどの説があります。

## キョウチクトウ(夾竹桃) キョウチクトウ科

インド原産の常緑低木です。江戸時代中期に渡来したと言われています。高さ3m程で、6～9月に淡紅色、紅色、白色などの花が咲きます。排気ガスや大気汚染に強い花木です。花、葉、枝根、果実すべてに毒性があり食べると中毒症状を起こします。名前の由来は葉が竹に、花が桃に似ているためと言われています。



☆花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所(Tel.0422-47-6900)までお問い合わせください。